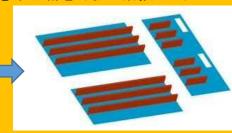
工法紹介〉〉〉

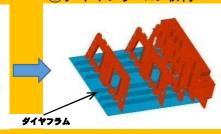
1つのブロック構造体が出来るまで【パネル工法】

①水平桁を外板と組立

②水平桁を外板に溶接して、パネル製作 ③ダイヤフラムの取付



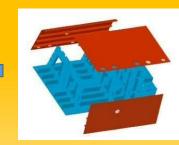




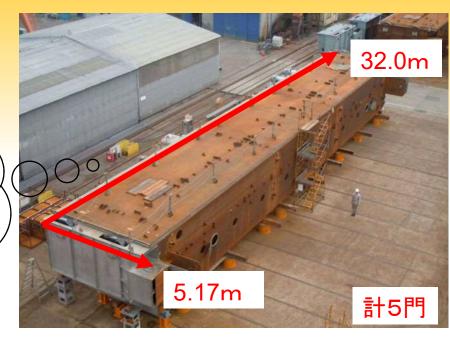
⑤扉体一括組立→溶接

4外板の取付





鵜住居川水門は16 個のブロック構造 で1門が完成します



工場で仮組立した水門だよ 見てみて!人があんなに 小っちゃいよ! 水門って大きいんだね

安全第一に工事を進め、一日も早い復興をめざします



株式会社丸島アクアシステム 株式会社中央コーポレーション JV統括事務所

〒026-0301 岩手県釜石市鵜住居町8-58 TEL 0193-29-1707 FAX 0193-55-6969

二級河川鵜住居川筋鵜住居地区 河川災害復旧(23災647号)水門設備

~現在までの工事進捗と今後の工事についての説明~





▲下流(海側)よりドローンにて撮影(H30年2月)

◆上空真上よりドローンにて撮影(H29年9月)

岩手県

(株)丸島アクアシステム・(株)中央コーポレーション特定共同企業体

工事名	二級河川鵜住居川筋鵜住居地区 河川災害復旧(23災647号)水門設備工事
ゲート形式	シェル構造サーニットゲート
ゲート寸法	純径間32.0m×有効高5.170m
開閉方式	ワイヤーロープウインチ式1M1D
水密方式	前面4方ゴム水密
設置門数	5門(1期2門・2期3門)
工期	平成26年10月11日~平成32年3月15日
施工範囲	扉体・戸当り・開閉装置・付属設備
	操作制御設備・非常用発電・受変電設備
操作方式	機側操作・遠方操作および自重降下
重量	5門分:約1920t

≪設備の目的≫

東日本大震災で被災した鵜住居町地内に、災 害から地域の皆様を守るための津波水門を新 設します。

平時の扉体は全開とし、津波、高潮時は、Jア ラート(全国瞬時警報システム)の衛星通信によ る信号にて全水門が4分以内で自重降下し、自 動閉鎖します。

また、停電時のための発電機も完備され遠方操 作にて閉鎖出来るようにしています。

【岩手県釜石市鵜住居町地内】





施工箇所

下流(海)側から見た全体正面図 左岸側 2期工事 <u>1期工事</u>

第1期工事 平成29年9月に完了

第2期工事 平成31年度開始予定



①工場で水門を製作します



⑥下段部最後の据付をします



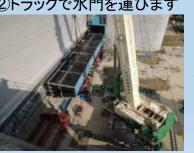
⑦扉体上段部を据付けます



②最後に開閉機を据付します



②トラックで水門を運びます



⑤扉体下段部を据付けます



⑧上段部最後の据付をします



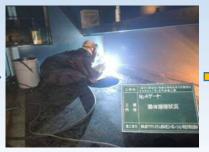
①1門の扉体が完成します



③扉体端部から据付します



④反対側端部を据付けます



9扉体同士を溶接します



⑩溶接箇所の塗装をします

同じ工程を繰り返し、1期工事が完了しました。



第2期工事も、第1期工事同 様、安全第一に施工を進め、 事業完了を目指します。



現場搬入





